

令和元年11月20日  
(2019年)

保護者の皆さまへ

吹田市立佐井寺小学校  
校長 津田 一司

## 平成31年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「平成31年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語と算数に限られております。測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった6年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

### 1 教科に関する調査の分析

#### 《国語 概要》

◎国語は全国値を上回る良好な成績であった。

#### 《国語 各領域における成果と課題》

##### 【話すこと・聞くこと】

- ・全国値を上回っている。
- ・「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる」については、無回答率が全国平均を上回り、自分の考えをまとめることに課題がある。

##### 【書くこと】

- ・全国値をやや下回っている。
- ・「目的や意図に応じて、自分の考えを理由を明確にし、まとめて書く」については全国値をやや下回っている。文章全体の構成を意識しながら、各段落の中心となる内容を取り上げ、短くまとめて書けるようにしていくことに課題がある。

##### 【読むこと】

- ・全国値をやや上回っている。
- ・「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらから読む」については、全国値を上回っている。

## 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・全国値を上回っている
- ・「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」については、全国値を上回っている。

## 《国語科における今後の改善点》

- ◇当該学年までに配当されている漢字は習得が十分できている。継続して基礎的・基本的な知識・技能の習熟に取り組んでいくことが大事である。
- ◇記述式の問題では、文章は書いているものの、問題文に示された条件のうち一部を満たしていないものが多かった。このことから、何を書く必要があるかを問題文から把握し、条件を満たすように記述することに課題がある。
- ◇記述式のなかに無回答率が高い問題があり、文章を書くことに対する苦手意識を持つ児童もいる。
- ◇日常の学習のなかで分かったことや自分の意見を書く活動を取り入れることで、文章を書くことに対する抵抗をなくしていく必要がある。また、国語の学習においては長い文章を読み、そこから何がどういう意図で書き表されているかを読み取る、あるいは、条件に合わせて要約する、意見をまとめる学習をしていくことが必要である。

## 《算数 概要》

- ◎算数は全国値を上回る良好な成績であった。

## 《算数 各領域における成果と課題》

### 【数と計算】

- ・ほとんどの問題で全国値を上回っている。
- ・「示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる」については全国値を上回っている。

### 【量と測定】

- ・全国値を上回っている。
- ・「示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる」については、全国値をやや上回っている。

### 【図形】

- ・全国値を上回っている。
- ・「図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる」については、全国値を上回っている。

### 【数量関係】

- ・全国値を下回っている問題が少しあった。
- ・「加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる」については、全国値をやや下回っている。
- ・「場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる」については、全国値を上回っている。

## 《算数科における今後の改善点》

- ◇第4学年で学習したときには定着していた「四則の混合した式について理解し、正しく計算する」については、正答率が低く課題であり、反復練習が必要である。
- ◇昨年度、課題のあった記述式問題は、どれも全国値を上回っていた。ノート指導に重点を置き、授業改善に取り組んだ結果、一定の成果が見られたと考える。今後も継続してノート指導に取り組んでいく必要がある。

- ◇正答となるための必要な3つの条件のうち、1つ欠けてしまって誤答となるケースが多いことが課題である。日常の学習を通して質問の意図を十分に理解したうえで答えていくことを指導する必要がある。
- ◇今後も引き続き「ノートに自分の考えを書く」ことを授業のなかで取り組んでいく必要がある。そして、自分の考えを書くだけではなく、人に伝えるためにどのように表現すればよいか、工夫する力をつけていく必要がある。

## 2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に対する調査です。「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した合計を肯定的回答として分析しています。

### 【基本的な生活習慣・家庭学習・家庭環境】

- ◇「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」については、全国値をやや下回っているが、昨年度と比べると全国値に近づき改善している。
- ◇「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」は全国値を下回っています。しかし、「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問で2時間以上勉強する児童は全国値を上回っています。宿題や学習塾などの学習時間が長く、自主的に学習をするという面に課題がある。
- ◇「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」は、週1回以上行くと回答した児童は全国値を上回っています。これは学校図書室の開放がよい影響を与えていると考えます。ただ、「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」は、30分以上と回答した児童は全国値を下回っている。

### 【自分自身に関すること】

- ◇「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」は全国値をやや上回っているが、「自分には良いところがある」「将来の夢や目標をもっていますか」は全国値をやや下回っている。経年比較でみれば自己肯定感は上がっている。

### 【授業や学習について】

- ◇「国語の授業の内容はよくわかりますか」は全国値をやや上回っているが、「国語の勉強が好きですか」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」は全国値をやや下回っている。
- ◇「算数の勉強は好きですか」「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか」は、全国値を上回っている。算数では様々な解き方を考える力、探求心が高まってきていると言える。これはノートづくり（書くこと）を積み重ねてきた成果が表れてきたと考える。

### 3 今後の取り組み

#### 《学校では》

- ☆「児童の思考力を高める」ことをテーマに、3年間、算数の授業研究に取り組み、「探求心（姿勢や意欲）」を高めることができつつあると感じています。今後も算数にとどまることなく他教科においても、日々の授業で思考力を発揮する授業づくりを進めていきます。これからも全教職員が自己研鑽に一層励み、研究授業・研究協議を通じて学校全体の授業力向上を図っていきます。
- ☆日常の学校生活や学校行事などあらゆる教育活動を通じて、児童の自主性を伸ばすこと、児童を称賛することに取り組んできました。その成果として自分自身に関する項目については年々改善が進んでいます。今後も児童一人ひとりが達成感や充実感を味わい、自分自身に自信を持って自己肯定感を高めていけるよう取り組んでいきます。
- ☆学習面における自主性を引き出す一つとして、自主勉強ノート「学ちゃん」に取り組んでいます。これをさらに活用して、児童が自ら学ぼうとする姿勢を育てるよう取り組んでいきます。

#### 《家庭では》

- ☆学校生活を支える大きな力の一つに「早寝・早起き・朝ご飯」に代表される生活習慣があります。家庭のしっかりとした支えが不可欠ですので、ご協力よろしく申し上げます。
- ☆家庭学習については、「家庭学習の手引き」を活用していただき、家庭の方での習慣づけをお願いします。
- ☆本校は地域行事が盛んな学校です。ボランティアとして地域行事に関わった子どもも少なからずいます。今後も子どもが地域行事に参加するよう働きかけをお願いします。
- ☆これまで様々な場面でかけていただいている家庭での称賛や励ましの声かけが、子どもの活動の源となっています。今後もよろしく申し上げます。